

平成 21 年 1 月 15 日

会 社 名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 徳 中 暉 久  
(コード番号：8729 東証第一部)

## 平成 21 年 3 月期 第 3 四半期末の有価証券評価損に関するお知らせ

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社（連結）の平成21年3月期 第3四半期末における有価証券評価損（減損処理額）を算出いたしました結果、下記のとおりとなる見込みですのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の有価証券評価損（平成 20 年 10 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の有価証券評価損の額（減損処理額）	1 8 8 億円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B × 100)	2, 6 1 6 億円 (7.2%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C × 100)	4 4 5 億円 (42.4%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D × 100)	2 4 2 億円 (77.7%)

- (注) 1. 上記 (A) の減損処理額は本日現在の概算値です。  
2. 上記 (A) の減損処理額にはソニー生命保険㈱の 187 億円が含まれております。  
3. 上記 (A) の他に、既に減損処理した有価証券評価損の額は、第 1 四半期末 7 億円、第 2 四半期末 33 億円であります。

#### 2. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期連結業績見通しにつきましては、現在精査中であり、業績予想の修正を行う必要が生じましたら速やかに公表いたします。

以 上

---

(お問い合わせ先)

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

広報・IR部 此尾（このお）・藤原 電話 (03) 5785-1074

E-mail: [press@sonyfh.co.jp](mailto:press@sonyfh.co.jp)

(ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社のホームページ)

<http://www.sonyfh.co.jp/>

## 【ご参考】

- 当社グループが保有する転換社債（CB）の時価評価およびCBを転換して取得した株式の簿価に関する日本と米国の会計基準の差異について

当社の連結業績は、日本の会計処理の原則ならびにその手続および表示方法（以下「日本会計基準」）に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国会計基準とは異なります。

ソニー株式会社が適用している米国会計基準においては、CBの時価評価の取り扱いに関し、時価の変動額を損益計算書（P/L）において損益として計上しますが、当社が適用している日本会計基準ではP/Lへの計上はなく、貸借対照表（B/S）の純資産の増減として計上します。

なお、当社グループの保有する株式の大部分はCBを転換して取得したものであり、CBを転換して取得した株式における簿価の認識についても、日本と米国の会計処理が異なります。米国会計基準では転換日の株式の市場価格で簿価を認識するのに対して、日本会計基準では転換後もCBの取得価額を株式の簿価として引き継ぎます。そのため、売却損益や減損判定のもととなる簿価が異なり、売却損益額や減損額にも違いが出てきます。